



2026年4月1日発行
発行人：森田 義彦
編集人：阪田 祥章
公益財団法人 日本YMCA同盟
国際青少年センター 東山荘
〒412-0024
静岡県御殿場市東山1052
Tel 0550-83-1133
Fax 0550-83-1138
www.ymcajapan.org/tozanso
(題字は故北村徳太郎氏)

東山花大より

[YMCA東山荘は創立111年]



▲今年の「年末年始家族パーティー」で植樹したハクモクレンに大きな花が咲きました

3月に入り桜の樹々がなんとなく灰色になってきた。段々と薄いピンクになり下旬には満開の桜の花に変わっていく。この変化を見ていると少しウキウキしてくる。東山荘の周辺は見事な桜並木があり、春にその下を散歩するのは季節の楽しみのひとつである。缶ビールがあるのもっと良い。

桜の開花時、富士山と桜のツーショットは御殿場の宝である。富士山は何時も変わらぬ雄姿を見せてくれるが心の持ちようで色々な姿に見える。落ち込んでいた時は「しっかりしろよ!」、怠けている時は「駄目じゃないか」、喜びの時は「良かったな、でも余り調子に乗るなよ」等と勝手な見方をしている。怠け心、狡い事を考えていると富士山に見られていることを思い出す。

春は別れと出会いの季節。今まで共に過ごした仲間や友人との別れを惜しみ、新しい人との出会いに期待感を持つ。過ぎた時を慈しみ、これから訪れる楽しい時に期待する。そしてどんな時も富士山が見守ってくれている。真っすぐ歩めと。

富士山が見ている

YMCA東山荘所長
森田 義彦

20

東山荘と私

日本YMCA同盟 前総主事

田口 努

人と出会い、自然に抱かれ、

「共に生きる」 原体験を次世代へ

一・始まりは、徹夜の語らいと一筋の笑顔

私が「東山荘」という場所を、はつきりと意識したのは、いまから半世紀以上前、高校生の頃でした。教会の全国青年会に参加した際、現在の5号館にある二段ベッドで、仲間たちと夜通し語り合ったことが全ての始まりです。

その時、玄関前に広がる残雪の芝生で、子どもたちとダイナミックにそり滑りを楽しんでいた東京YMCAのスタッフがいました。後に、その方がNHKの番組『親と子のスイミング』にも出演されていた本間立夫主事であったことを知ります。高校生だった私の目に映ったの



田口 努(たぐちつとむ)
福島県いわき市生まれ。大学卒業後、横浜YMCAに入職。2008年より同YMCA総主事を務め、2020年4月から2026年3月まで第16代日本YMCA同盟総主事。

は、心から楽しそうに子どもたちをリードするスタッフの姿と、それに応える子どもたちの弾けるような笑顔でした。これが私にとっての「YMCAプログラム」との初対面であり、その後の人生を決定づけるほど、非常にポジティブで鮮烈な印象として心に刻まれました。

1976年、大学進学を機に仙台YMCAのリーダーとなった



昨年の「のんびり楽しく富士山登頂」にて。現役総主事の参加は史上初。

私は、全国リーダー研修会やYMCA大会などで毎年のように東山荘を訪れるようになります。多くの出会いと学びに満ちた東山荘は、いつしか「行ける」と聞いただけで胸がわくわくするような、特別な魅力を持つ場所となっていました。

二・「土を踏む」日々が教えてくれたもの

1979年、縁あって横浜YMCAの職員となった私は、新人研修からリーダートレーニング、さらには幼児キャンプやLD児(学習障がい児)支援キャンプのディレクターとして、文字通り「毎月のように」東山荘の土を踏むことになりました。

特に印象深いのは、約10年にわたり関わった幼児キャンプです。当時は「Aテントエリア」と呼ばれていた芝生の上に10張ほどのグループテントを設営

し、フィッシュヤー館を本部として活動していました。子どもたちが芝生に転がり、東山湖から吹き抜ける心地よい風を感じながら食事を摂る光景。フィッシュヤー館の木のぬくもり。そして森の中に静かに佇むキャンプファイヤー場。多くの幼児たちが、この豊かな自然の中で五感を研ぎ澄ませ、健やかに育っていききました。

三・富士登山への挑戦、そして「共に喜ぶ」姿

2000年頃、私はYMCA保育園の開設に携わり、園長に就任しました。その新人職員研修で、雪に覆われた富士山麓の散歩に同行した際、ネイチャープログラムスタッフ「白鳥さん」

た。中には、自身の職場である小学校の行事を東山荘へ誘致する保護者まで現れました。こうした「東山荘ファン」の広がりは、卒園児が成長してリーダーやスタッフとして戻ってくるという、素晴らしい生命の循環を生み出しています。

が線り出すネイチャーワールドに引き込まれ、私は東山荘の新たな魅力を再発見することになります。新雪の森を歩き、雪の上に寝そべり、洞窟を探検する。この体験を機に、保育園のキャンプは夏冬ともに東山荘へ行くことが恒例となりました。

2025年の夏、私は長年耳にしていた「東山荘ネイチャープログラムの富士登山」に、ついに一人人として参加することができました。小学4年生から76歳までの約30名が挑む登山でしたが、そこで目にしたのは、時代を超えて受け継がれるYMCAの精神でした。

自然の中で子どもたちがとく遊ぶ姿は、保護者の方々へも伝わります。30〜40名規模の親睦グループが組織されるまでになりました。

スタッフやリーダーたちの一人ひとりの心に寄り添い、モチベーションを高める「伴走型」のサポートに深く感銘を受けました。何より、参加者が無事に登頂し喜び合っている姿を、スタッフたちが自分たちのことのようにすがすがしい笑顔で見守っている様子は、まさに聖書の「共に喜ぶ」という教えを体

験した。何より、参加者が無事に登頂し喜び合っている姿を、スタッフたちが自分たちのことのようにすがすがしい笑顔で見守っている様子は、まさに聖書の「共に喜ぶ」という教えを体



日本YMCA同盟総主事／公益財団法人日本YMCA同盟代表理事 田口努は、任期満了のため2026年3月31日をもって退任し、4月1日より新たに太田直宏（おおた・ただひろ）が就任いたしました。3月20日には日本キリスト教団番町教会（千代田区）を会場に「総主事就退任式」を開催し、国内外から120人余りが見守る中、聖書引継などを執り行いました。

◇ ◆ ◇
YMCA東山荘は、日本YMCA同盟（東京都新宿区）が運営する国際青少年センターです。日本YMCA同盟は1903年（明治36年）に結成され、国内YMCAの連絡調整機関であると同時に、「世界YMCA同盟」と「アジア・太平洋YMCA同盟」に加盟しており、世界のYMCAとも連携を図っています。

現しているかのようにでした。他者の喜びを自分の喜びとし、苦しんでいる時には共に歩む。こうした経験の積み重ねこそが、これからの社会で必要とされる「共に生きる」ための原体験になるのだと、山頂の風の中で強く確信しました。

四・110年の歴史を背負い、未来の「ポジティブネット」へ
YMCA東山荘は、1915年の献堂以来、110年という長い歴史を歩んできました。その歩みは決して平坦ではなく、戦時中の夏季学校の中止や、近年のコロナ禍という未曾有の事態など、常に時代の荒波に揉まれてきました。

しかし、東山荘はいつの時代も、自由に意見を交わし、多様な価値観と出会い、「人間とは何か、いかに生きるのか」を問い続ける場であり、人間性を回復される場であり続けました。世界で分断が進み、不穏な空気が漂う現代だからこそ、YMCAが掲げる「みつかる。つながる。よくなっていく。」という価値観を具現化する場の重要性は増しています。

私の人生は、常に東山荘と共有してきました。ここで多くの人と出会い、多くの価値観に触れ、育てられたことに心から感謝いたします。これからも東山荘が、ポジティブネット（前向きなつながり）のある豊かな社会を創造し、人々をエンパワーメントし続ける「祈りの場」として歩んでいけるよう、皆様の温かいお支えをお願い申し上げます。


新総主事より



日本YMCA同盟
第17代総主事 太田 直宏

『東山荘だより』の読者の皆様、はじめまして。
この度日本YMCA同盟の総主事に就任した太田直宏（おおたただひろ）と申します。
愛する東山荘での働きに直接連なることとなり、大変うれしく、一言ご挨拶と抱負を述べさせていただきます。
私は1980年に大学に入学し、グリークラブ（男声合唱団）に所属しておりました。その学生時代、多田武彦作曲・草野心平作詞の男声合唱組曲『富士山』を、4年生の時の最終ステージで、160名の仲間とともに、大阪フェスティバルホールを会場に、全編無伴奏の重厚なハーモニーで歌い込んだことは、私の心に残る原風景の一つとなっています。「作品第壹」から、夕映えの富士に思いを馳せる「作品第貳拾壹（宇宙線富士）」まで、合唱を通してですが、富士山の大きいなる存在感を胸に刻みました。
110年の歴史を持ち、眼前に本物の富士を仰ぎ見る「YMCA東山荘」に携わることになり、合唱で思い描いた富士山と現実の姿が重なり、深い神様の導きを感じてい


ます。
私は大学卒業後、企業に就職したものの、フィリピンでの井戸掘りワークキャンプを機に人生の方向転換を決意し、神戸YMCAに入職しました。以来、宝塚、岡山と拠点を移しながら、40年にわたりYMCA運動に関わって来ました。
近年は西日本豪雨の災害支援活動や、コロナ禍での「おかやま親子応援プロジェクト」など、困難な状況にある方々に寄り添う活動に力を注いできました。
私たちが目指しているのは、互いを認め合い、困った時に「助けて」と言い合える「ポジティブネット」のある豊かな社会の実現です。
東山荘は、創立以来「祈りと学びの場」として、またICU創立の「御殿場会議」や平和を願う「東山荘会議」など、多くの若者や指導者が集い、社会を変える原動力を生み出してきました。
富士を望むこの美しい自然の中で、世代を超えた交わりが生まれ、心を満たす「ポジティブネット」がさらに広がるよう、私自身も「よく迷い、よくつまづく信徒」としての自覚を持ちつつ、ボトムから皆様を支える働きに尽力してまいります。
今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。



【感謝】
「東山荘友の会募金」
2025年度のご報告
 (2025年4月1日～2026年3月31日)

118件 2,015,267円

【ご寄付の方法】
 ＊同封の専用払込票
 ＊郵便振替
 00800-6-66931 公益財団法人日本YMCA同盟
 国際青少年センター東山荘
 ＊東山荘フロントで直接
 ＊オンライン(右のQRコード)



公益財団法人日本YMCA同盟への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

昨年の6号館改修に続き—— 5号館リニューアル完了

『東山荘だより』冬号でご案内しました5号館のリニューアル工事が完了し、外装・内装ともに一新しました。

芝生広場から観る外壁塗装については、「御殿場市総合景観条例」に沿って、本館および6号館と同様、森の中のYMC A東山荘らしい落ち着いた色調となっております。また、6号館側の外壁塗装には、YMC Aのブランドカラーとアクセントカラーを取り入れました。

お部屋については、これまで開き戸だった玄関ドアをスライド式に変更し、ストレスなく出

入りできるようになりました。トイレや洗面台もリニューアルしました。

しばらくの間、二段ベッドから布団を敷いてご利用いただくなど、一部これまでの仕様と異なる部分がありますが（6名定員は変わりませぬ）、以前よりもさらに快適にお過ごしいただけます。

皆様のご来荘をスタッフ一同心よりお待ちしております。

◆ ◆ ◆
5号館：6名部屋（洗面・トイレ付）20室120名、講師室（ツイン、洗面・トイレ付）1室2名。



チャリティーゴルフ収益により

「ふじさん教室」のこどもたちを東山荘に招待

3月28日、御殿場市の「ふじさん教室」（海外にルーツを持つ子どもたちが通う学習教室）に通う子どもたちと保護者の皆さま45名をお招きし、デイキャンプを実施しました。

オリエンテーションの後、クラフトではビュンビュンごま作りを通して世代を超えた交流が生まれました。昼食には名物のカレーを味わい、午後は子どもたちのリクエストで実現した餅つき体験を楽しみました。

振り返りでは支援者の皆さまへ感謝のメッセージを記し、参加者同士で思い出を共有しました。

た。帰路のバスでは、「楽しかった！」「また来年も来たい！」など再参加を望む声も多く聞かれました。

本事業は第11回チャリティーゴルフのご支援により実施されました。当日ボランティアとして参加いただいた御殿場ワイズメソッドクラブ様、様々な要望に添えてくださった令和レストランシステムズ様、チャリティーにご参加いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。

（小林）



2025年度利用者数——

前年度よりやや減少

全体的には回復傾向

予約担当 芹澤多賀子

2025年度の利用者数は前年度と比べてやや減少する結果となりました。年度前半は前年度と同程度で推移し、6、8、10月は前年度より多くの方にご利用いただきました。9月以降は前年度を下回る月が続きました。暦の影響もあったと思われる。一方、教会のご利用が増えてきましたのは嬉しいことでした。

利用者数は、2023年度以降はコロナ禍以前の水準に近づきつつあり、回復傾向が見られ、近年は比較的、安定した利用状況となってきました。

様々なご事情で東山荘のご利用をお休みされていた皆さま、どうぞお出掛けください。装いも新たになった5号館、6号館をご覧いただければと思います。皆様のご来荘を心からお待ちしています。

宿泊のご予約は原則、

- ・団体様(15名様以上)は1年前から
- ・個人様(15名様未満)は3か月前から承ります。お気軽にお問い合わせください。



主催プログラムご案内

【参加者募集中】

●春のことも自然キャンプ

「箱根一周47km遙かな山旅」

5月2日(土)〜5日(火)3泊4日

対象：小中高生

年間を通して多くの観光客が訪れる箱根、その本当の魅力・大きさを体感するために、箱根外輪山をぐるっと37km縦走し、さらに旧東海道箱根八里を10km登って、完全周回します。コース全長は47km、累積標高（登り下りの標高差合計）はなんと6311m！4日間の遙かな山旅に出かけましょう。

行く先々で自然や風景、歴史や文化、そして人々や生き物との出会いを重ねながら、仲間と共に歩き、休み、語り、そして共に大きな目的を遂げる喜び・楽しさはやってみないと分かりません。

「歩く力は、生きる力。」
来たれ、キャンプキッズ！
(部分参加もできます)

(部分参加もできます)

【以下の富士登山プログラムについては申込開始日や参加要件等があります。詳細は東山荘までお問い合わせください。】

●のんびり楽しく富士山登頂

8月12日(水)〜15日(土)3泊4日

対象：どなたでも

今年で30回目となる当プログラムは、年齢や体力面で不安な

方や、お一人で参加の方も、みんながそろって、楽しく、安全に登山できるように、経験豊富なスタッフが登山装備の準備段階からサポートします。緑が色濃く残り野鳥の囀りも楽しめる須走口登山道を登ります。例年、小さなお子様から高齢の方までが参加され、大家族のような和気あいあい、ほのぼの登山を実践しています。

【予告】
●第61回年末年始家族パーティー
12月30日(水)〜27年1月3日(日)
4泊5日
対象：どなたでも！
お正月は大好きな東山荘でという思いから始まった「年末年始家族パーティー」。どなたでもご参加いただけます。部分参加も可能です。皆さまの「おかえり」を心からお待ちしております。

【予告】
●第61回年末年始家族パーティー
12月30日(水)〜27年1月3日(日)
4泊5日
対象：どなたでも！
お正月は大好きな東山荘でという思いから始まった「年末年始家族パーティー」。どなたでもご参加いただけます。部分参加も可能です。皆さまの「おかえり」を心からお待ちしております。

●子どもチャレンジキャンプ

「Challenge the limits」

我入道海岸から歩いて富士山登頂

8月17日(月)〜22日(土)5泊6日

対象：小中高生

毎年、さまざまなチャレンジを通して富士山登頂を目指すこのキャンプ。今回は、6日間か



富士山頂にて(背後は日本最高峰・剣ヶ峰)

各プログラムの詳細な案内をご希望の方は東山荘プログラム担当までご連絡ください。
お申込みをいただいた時点で既に定員に達している場合がございます。ご了承ください。



東山荘は食事も美味しい！

「森のレストラン」 どうぞご利用ください

東山荘では宿泊や会議のみならず食事付き定例会やパーティー、歓送迎会、結婚式等も承っております。ご要望に応じて様々なアレンジが可能ですので、お気軽にお問い合わせください。



卓盛プラン
コース料理プラン

＊団体様のマイクロバス送迎についてもお気軽にお問い合わせください。
＊今年は例年4月に開催している「桜ランチビュッフェ」の開催はありません。次回のランチビュッフェは紅葉が美しい時期を予定しています。

季節の一品

Seasonal Recipes



グリーンピースの煮込み

えんどう豆の美味しい季節です。
生が入れば生が美味しいですね！！



食堂支配人
長田 尚弥

材料 (5人前)

- 玉葱..... 50g
- バター..... 25g
- ベーコン..... 75g
- チキンブイヨン..... 150cc
- レタス..... 1/2 個
- グリーンピース..... 150g
- 小麦粉..... 大匙 1 杯
- 砂糖..... 15g
- 塩・胡椒..... 適量

1. 玉葱はスライス、ベーコンは5mm幅。レタスは大きめのざく切り、グリーンピースは硬めに茹でておく。
2. 鍋にバターを熱し、玉葱を中火で炒める。しんなりしてきたらベーコンを加えて炒め、小麦粉を振り入れて炒める。
3. チキンブイヨンを少しずつ注いでレタス・砂糖を加え、弱火で3分位煮る。
4. レタスがクタツとしたらグリーンピースを加えて煮込み、塩・胡椒で味を調えて深さのある皿に盛りつける。

退職者メッセージ

「東山荘スタッフは東山荘が大好き」

滝口敦子さん

この3月で滝口敦子さんが退職しました。35年間という長きにわたりフロント＝東山荘の顔としてお客様をお迎えしてきました。退職にあたりメッセージをいただきました。

への温かいおもてなしにつながっています。また、お客様との出会いを大切にしています。そうした思いをスタッフみんなで共有していることが、東山荘の温かい雰囲気につながっているのだと思います。

東山荘100年誌の作成に関わった際には、故坂口順二先生から「志を同じくする者が真剣に祈り合えば、必ず解決の糸口が見えてくる」(マタイ18・19-20)という聖書の言葉を教えていただきました。祈りには発想を変える力があるということ

111年の歴史を持つYMC A東山荘、その中で35年間働くことができたことは、私にとっ て大きな誇りです。これまで多くのお客様やスタッフと出会い、支え合いながら歩んできました。 東山荘では、スタッフ全員がこの場所を好きで、楽しく働くことを大切にしていると思えます。一人ひとりが東山荘を大切に思う気持ちで、自然とお客様



「滝口さん、今まで長い間ありがとうございました」スタッフ一同

また、「年末年始家族パーティー」にも長年携わり、多くのご家族やお子様 の成長を見守ることができたことは大きな喜びでした。 日本館を壊す際には、館内に落書きしようというイベントを

企画し、実行させてもらったこともよい思い出です。

111年の歴史の中で、私の



1号館より見た日本館(右)と新本館(左) (2016年)。

35年は小さな一頁かもしれないませんが、多くの方に支えられて過ごしたかけがえのない時間です。これからも東山荘が「また帰ってきたい」と思える場所であり続けることを願っています。支えてくださったお客様、スタッフの皆さん、私の「第二の家族」として心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

【職員紹介】

東山荘で働き始めました。よろしくお願ひします。

フロント

●須藤礼奈



何でもテキパキこなし、趣味はダイビングのアクティヴガール。書道の腕前も。

プログラマー等

●杉山真彦



地元御殿場のことならお任せ。お米を育てる農家さんで頼れるマツチリーダー。

●海老岡莉子



若いけど冷静。丁寧な接客で親しみやすさが魅力。最近筋トレはじめました。

●作本達朗



熊本YMCAから同盟に出向。最初は東山荘でプログラマー等に就きます。

【編集後記】賑やかな春、3月中旬頃から庄内を歩くのが日課です。地面からはニョキニョキと色々な芽が出始め「やあ元気だったかい」とお互いに声を掛け合います。東山荘に来るとそんな気分になるのです(笑)。ぜひ皆さんも外界と隔絶された東山荘で、そんなのんびりした滞在をお楽しみ下さい。(2/25)

「友の会募金」ご協力のお願い

YMCA東山荘がこれからも、子どもたちや青少年の出会いと学びの場所として魅力あふれる場所であり続けられるように、また、より充実したプログラムや施設、環境を整えていくために、「YMCA東山荘友の会募金」を募っております。ぜひ多くの方のご賛同とご支援をお願い申し上げます。(2025年度ご報告→3ページ)

- *郵便振替 00800-6-66931
*東山荘ホームページからオンライン(→QRコード)
*東山荘フロントで直接お支払い



公益財団法人日本YMCA同盟への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

お問い合わせ・お申込み

資料の請求はこちらまで

YMCA東山荘

〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052

TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138

E-mail: tozanso@japanymca.org

ホームページ www.ymcajapan.org/tozanso